

神奈川施保連ニュース

発行人 神奈川県知的障害者施設保護者会連合会 会長 大矢 武久
編集同上広報部会 HP:<http://w01.tp1.jp/~a368318200/>



平成31年新年号

年頭にあたつて 神奈川県知的障害者施設保護者会連合会

会長 大矢 武久

明けましておめでとうございます。昨年とは皆様方の一方ならぬご指導とご協力をいただき大変ありがとうございます。ありがとうございました。

厚くお礼申し上げます。

当連合会では先輩たちの努力のおかげで今年創設50周年を迎えます。

次の始まりに向けて新たなエネルギーを蓄える年とは亥年の意、これにちなみ私たちも次の50年に向けて新たな気持ちでスタートしたいと思えます。

さて、社会の動きはどうでしょう。国際社会、国内の政治、経済等々激しく変化する流れの中にあります。障害福祉についても例外ではありません。

一昨年あたりから障害者にとって憂慮すべき問題として様々な言葉が新聞紙上等で見受けられるようになりました。

「優生思想の問題」、「障害者雇用の水増し問題」、「共生不妊手術を認めていた旧優生保護法の問題」など。

社会に対する警鐘として、障害福祉に関する意識が高まればと期待します。

一方、障害を持つ人たちの実際の

暮らしやすいかはどうか。

こちらにも国は「地域移行」、「共生社会」、「我が事・まるごと」など、障害福祉の理想を提唱するような言葉で様々な施策が進められています。

残念ながら福祉予算の削減や圧縮が透けて見えるようです。

現実は大変厳しい状況が続いています。知的障害のある人たちの態様やライフステージに応じた最適な生活の場は確保できるでしょうか。国は着々と地域移行を進めています。それがすべて間違っている訳ではありません。

しかし現状では知的障害に対する社会の理解が薄く地域に快く迎えられる土壌が育っていない。

国や地方自治体による支援体制は十分とは言えず、まだまだ地域移行できる人は一部の人に限られています。

重度行動障害のある人たち、高齢化に伴い医療的ケアが必要な人たちも増えてきています。

このような人たちは入所施設でなければ生活できない人たちであり、今後とも増え続けるものと思われれます。

こうした現実を踏まえ、神奈川施保連は今後も入所施設の質的改善や機能の充実を国や自治体に対し、要望書、意見書などにより訴えていきます。

当連合会ではタイムリーな情報の収集、分析、それに基づく適切な判断ができるよう、調査研究あるいは会員相互の情報交換など、五つの部会が連携しながら積極的に活動してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

本年もよろしくお願いたします



神奈川施保連理事会 2019.1.6

調査部会

調査部会長 石川 初枝

あけましておめでとうございます。
当部会は、知的障害者が安全・安心な暮らしの
継続が将来に渡りできますように、2018年よ
り外部への調査を含め、新たにスタートしました。
また、中長期にわたる展望が持てる取り組みに
より、施設連活動方針策定に反映できますよう皆
さまのご意見もお聞きしながら取り組んでいきま
す。

情報部会

情報部会長 杉山 紀靖

新年おめでとうございます
本年もよろしくお願いたします。
昨年は障害福祉に関するレポート29号、30号を発
行する事が出来ました。
本年も部会のコンセプトである「障害福祉制度は
どうなっているか」の観点からレポートをまとめ
たいと思っております。

交流部会

交流部会長 大月 和真

7月の講演会では知的障害者の暮らしの場につ
いて考え、1月と3月の学習会では私たちを取り巻
く状況理解を深め、10月は白根学園見学して利用
者を中心にした支援の実際を学びました。
11月の保護者間交流会では保護者会の維持、活
性化について意見交換会をしました。
できるだけ会員の皆さまのご期待に添えるテー
マを設定して、充実した交流の場を作るよう今年
も取り組んで参りたいと思っております。

広報部会

広報部会長 山本 武

今年も、各家族会からの投稿記事の投稿にご
協力お願い申し上げます。
各家族会の投稿記事のお蔭で、各家族会の取
組、動きが把握でき、家族会としてのあるべき
姿を探るのに非常に参考になっております。
今年もメインのテーマは、交流部会主催の学
習会、講演会、勉強会等を中心年間8回ほど、
施設連ニュースを発行していきたいと考えてお
ります。
それ以外にも、皆様からニュースになるような
原稿を頂ければ、随時発行していきたいと思
っております。

総務部会

総務部会長 杉山 昌明

新年おめでとうございます。
本年も、会議会場の確保、会員への連絡調整等、
神奈川県施設連の活動を円滑に進められるよう全
力で取り組みます。
本年五月に開催される、「神奈川県知的障害者
施設保護者会連合会創設五十周年記念式典」の準
備等に、総務部会として最大限の協力をしてい
きます。
しかし、部会のメンバーは兼任の部員ばかりで
人手が足りませんので、会員の中で部会に協力し
て頂ける方がいらっしやいましたら、ぜひお願い
いたします。

障害のある人たちが病気になったとき、 ケガをしたときに備えて

神奈川県施設連では、知的障害児者や自閉症児者が病気やケガをした時、また、そのために入院した時などに備え、「やまゆり知的障害児者生活サポート協会」の運営に参加しています。

加入資格、その他の詳細は、下記までお問い合わせ下さい。

一般財団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2 神奈川県社会福祉会館内

TEL:045-314-7716 FAX045-324-0426